

梅窓院通信

No.48

2010/09/01

青山



平成22年5月30日、梅窓院本堂で行われた瀧沢家・家結婚式

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成

夏の施餓鬼会が無事に終わりました。皆様にはお変わりないことと存じます。

施餓鬼会にわざわざ「夏の」とつけましたが、施餓鬼は彼岸やお盆、十夜と異なり、いつ行つか、決められた時期がある行事ではありません。一年中、いつ行ってもいいのですが、慣例的に夏が多く、梅窓院も昔から夏の施餓鬼会でした。ですが、ここ数年、東京の浄土宗寺院では、暑い夏を避け五月に行うお寺が増えてきています。そこで、梅窓院も来年から施餓鬼会を五月第三土曜日に行うことに致します。どうぞ、ご予定にお加えください。

来年といえば、来春には蓮池が出来上がります。墓地整備の最後となるこの蓮池新設ですが、お檀家さまの多大なるご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今号の特集では仏式結婚式を取り上げました。お寺というと葬儀や法要のイメージが強いですが、結婚式といった慶事も行います。本特集で興味を持っていただければ幸いです。

さて、大事なお知らせがございます。来年度よりの墓地管理費の改訂です。理由は実際の管理にかかる諸費用が管理費収入を上回るようになったからで、もちろん総代、役員と相談した上でのことです。お墓の大きさに応じて管理費の額が変わりますが、詳細は改めてご連絡申し上げます。

こういうご時世の中での改訂で、申し訳ございませんが、止むを得ないことですので、皆様のご理解とご協力をいただけるようお願い申し上げます。次第です。

仏教歳時風物詩 (11)

糸瓜忌と秋彼岸

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦 上人

暦

の具合ということもあるが、おおもね九月十九日は秋の彼岸入りの前日に当たる。九月十九日は正岡子規の命日・忌日で子規忌である。正岡子規は、ほかの筆名に瀬祭書屋主人・越智処之助・竹の里人などがあり、瀬祭忌ともいうが、糸瓜忌の別称が広く知られている。

子規は、身辺の随筆『病牀六尺』を死の二日前まで書き継いで、

俳病の夢みるならんほどとぎす

拷問などに誰がかけたか

という歌を遺した。そして、死の前日の明治三十五年九月十八日の朝、

糸瓜喫て痰のつまりし仏かな

痰一斗糸瓜の水も間にあはず

をと、ひのへちまの水も取らざりき

の三句をみずからしたためて、絶筆となった。「糸瓜三句」には、たしかに子規の芸術と人生が集約されている。と同時に、子規を仰ぎ慕う人々にとつては万感胸に迫る尊く、うるわしい句ということになる。

糸瓜の実を乾したものは、浴用の垢すりや汗除け、あるいはタワシなどに使われてきたが、糸瓜の水は、美容に有効な化粧水として使われることも

に、古来、去痰鎮咳の妙薬とされてきたのである。糸瓜の水は、蔓莖を地上三、四十センチほどのところで切り、根元のほうの切り口を瓶などに差し入れておくと、その切り口から一昼夜に一リットル以上もの水がたまるのである。陰暦八月十五日、つまり仲秋の名月の夜に取ったものを最上とし、糸瓜の水・糸瓜の水取る・糸瓜引くなどの季語となっている。病床から糸瓜棚を仰ぎ見た子規の水彩のスケッチに、はるかに心を寄せることである。

そこで、公表を期してのものではない日記様の遺稿である『仰臥漫録』から、亡くなる前年に当たる明治三十四年の秋彼岸会を、子規の句日記を通して辿ってみたい。

「九月二十一日 彼岸の入 昨夜ヨリ朝ニカケテ大雨 夕晴」と記してあり、この年は彼岸の入りが二十一日であった。この入りの日の句に、「草木国土悉皆成仏」と詞書きして、
糸瓜サへ仏ニナルゾ後ルルナ
成仏ヤ笑顔ノ顔へチマノ尻

の二句を並べている。九月二十四日が秋分、お中日で晴であった。「陸ヨリ自製ノ牡丹餅ヲモラフ 此方ヨリ菓子屋ニ詔ヘシ牡丹餅ヲヤル 菓子屋ニ詔

ヘルハ 宜シカラヌコトナリ サレド衛生的ニイハバ病人ノ内テ拵ヘタルヨリ詔ヘル方宜シキカ何ニセヨ牡丹餅ヲヤリテ牡丹餅ヲモラフ 彼岸ノヤリトリハ馬鹿ナコト也」と記して、

才菽クバル彼岸ノ使行キ逢ヒヌ 梨腹モ牡丹餅腹モ彼岸カナ 餅ノ名ヤ秋ノ彼岸ハ菽ニコソ 西へマハル秋ノ日影ヤ糸瓜棚

と作句している。牡丹餅は柿と同じように子規の大好物のもの。また陸羯南は、日本新聞社の社長として新聞ジャーナリズムを先導した明治を代表する言論人。とともに子規の恩人であり、家主として隣人でもあった。

そして彼岸の明けは九月二十七日、曇と記している。時に陰暦八月十五日が、陽暦の九月彼岸の頃に重なる場合もあり、この年は二十七日が仲秋十五夜であった。「浄名院ニ出入ル人多ク皆糸瓜ヲ携ヘタリトノ話、糸瓜ハ咳ノ葉ニ利クトカニテオ咒デモシテモラフナラン 蓋シ八月十五日ニ限ル也 / 月無シ」と記されている。

正岡子規に心を寄せながら綴ってきた秋彼岸への想い——。改めて、今は亡きなつかしい人々へ供養の心を捧げたい。

(大正大学教授)

施餓鬼会大法要

7月21日(水) 本堂・祖師堂



施餓鬼会大法要の様子。暑い中、大勢の方にご参加いただきました。

盂蘭盆会法要

7月13日(火) 本堂



盂蘭盆会法要の様子。

第50回念仏と法話の会

6月10日(木)

六月・七月の

行事予定

秋彼岸法要

九月二十三日（木）

彼岸寄席

午後1時～ 2階 本堂

プロフィール

1962年荒川区生まれ。1981年三遊亭圓歌に入門。1993年女性初の真打ち昇進（女流粋）。2000年女流粋撤廃され、男性と同様の真打ち扱い。寄席・落語の会から、講演会・司会業、コラム執筆など活動の場は幅広い。2010年6月より落語協会理事就任。

三遊亭歌る多師匠



秋彼岸会法要

午後2時～ 2階 本堂

お彼岸ライブ in 青山 9月25日（土）

今年で6回目を迎えるお彼岸ライブ。昨年好評だった、友禅染物体験（参加費1,000円）や「おやき」販売だけでなく、今年は『彼岸写真展』も同会場にて開催!!

青山家後見人である青山幸文さんの写真展などご家族揃って楽しめるイベントを用意しております。ご家族皆様でご参加下さい!!

開場 午後3時～

開演 午後3時半～ 地下二階 祖師堂

※詳細は別紙をご覧ください。

塔婆申込み方法

同封のはがきを使い9月15日必着でお申込み下さい。塔婆回向料は **1本 7,000円** とさせていただきます。

お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。（銀行でのお振込みは出来ません。）

お檀家様へお願い

- お彼岸前後の土・日・祝日はお参りに来られる方で境内が大変混み合います。ご来寺の際は電車等、公共交通機関をご利用下さい。
- 9月18日～26日まで、境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせていただきます。ご協力お願いします。

秋彼岸に寄せて

又あふと 思ふ心をしるべにて

道なき世にも 出づる旅かな

（また逢うと 思う心だけを道標みちしるべにして
道なき道の世の中に 出て行くのだなあ）

暑さ寒さも彼岸までとは申しますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。冒頭の一首は、二〇二〇年NHK大河ドラマ『龍馬伝』にて福山雅治さんが演ずる主人公、坂本龍馬が詠んだ歌です。明治維新以前の動乱の時代、土佐、京都、江戸と、正に日本を駆け回っていた坂本龍馬が、その合間を縫うように僅か二日ばかりの逢瀬を重ねた妻のおりょうに宛てて詠んだのです。「見すると道なき世に不安を抱いた悲観的な歌に思われますが、実は、「世の中がどう動いたとしても、また必ずお前に逢いに来る。必ず帰つて来る。」という、龍馬のおりょうに対する深い愛情とともに再会を誓う決意が表れているのだそうです。

お彼岸は、此岸に生きている私たちが、彼岸におられる先祖の浄土往生を喜び、追善供養をする時期でございます。幸いにも私たちにとっては、道なき道ではなく、確かな道が阿弥陀様の誓願により保障されており、安心してお念仏に励むことができます。そして、龍馬とおりが再会を誓ったように、先祖との再会を願う心を抱いて掌を合わせてみてはいかがでしょうか。

（法務部）

お寺で慶事

ほとけさまの前で愛を誓う仏式結婚式

葬儀や法要のイメージが強いお寺ですが、お寺では慶事も行います。そして、その代表が仏式結婚式です。

もともと日本の結婚式は自宅に親戚が集まって行っていました。明治以降色々な形の結婚式が行われるようになりました。神前式、キリスト教式、そして仏式です。さらに今は仲人を立てない結婚式、神仏ならぬ友人知人の前で誓う人前式など、色々な結婚式の形が生まれています。

今年五月、梅窓院本堂で仏式結婚が行われました。梅窓院では、開基の青山家の現当主の結婚式以来で、新しい本堂では初めての結婚式になりました。主役の新郎は梅窓院の職員である僧侶で、梅窓院住職が戒師を務めました。

日本古来の雅楽が響きわたるなか始まる式には、指輪交換や杯の交換など、神式と同じもの、仏式ならではのものなどがありますが、その荘厳さで、新郎新婦そして親族、列席者の心を清く澄ませ、二人を導き合わせた縁への感謝の気持ちで満たしてくれる式になります。

普段あまり参列される機会のない仏式結婚式、紙面でご覧ください。



- (注) ※1 戒師……一般的な法要の導師にあたる僧侶の呼び名で、式のすべてを執り行う。
※2 表白……儀式や法要の前にこれから行うこと、なぜ行うかを述べる。
※3 告諭……結婚する二人に夫婦としての心構えを諭す。
※4 行華……後にお釈迦様に生まれ変わった雲童子うんどうじが結婚するときに花を国王に捧げた故事に由来する儀式。
※5 灌頭……導師や戒師が聖水を桜の木で作った散文さんじょうで受者の頭につける作法。
※6 懺悔……仏さまを道場におよびし、自分の罪を告げ反省する仏教の基本姿勢。
※7 三帰三竟…仏 — お釈迦様、法 — お釈迦様の教え、僧 — お釈迦様に教えを信じる者たち、の三つを大切にしますと誓うこと。
※8 日課勸奨…毎日欠かさずに称える念仏の数を誓うこと。
※9 聖漿……仏教ではお酒を般若湯という言い方もするが、これはそのお酒。



仏式結婚の式次第



仏さまへ手向けのお香。



新郎新婦が戒師から清めに聖水を頭に受けます。



戒師から列席者全員に十回の念仏が授けられます。



戒師が新郎新婦の結婚を仏さまに報告します。



しょう ひちりき おうてき ががく
笙、箏、横笛の雅楽演奏で
戒師、新郎新婦が入室します。



うんどうじ
雲童子の結婚になぞらえ、
新郎新婦で花を供えます。



数珠が戒師から新郎新婦に
渡されます。



新郎新婦が誓いの言葉を読み
上げます。

1 **奏楽**

2 **無言三拝**

仏さまへのお礼の御辞儀を無言で3回します。

3 **表白**※2

戒師※1がこれから行う式の内容を仏さまにお伝えする。

4 **焼香**

5 **告諭**※3

戒師から二人へこれからの心構えを説きます。

6 **行華**※4

7 **聖水灌頂**※5

8 **懺悔**※6

仏さまの前で今までの反省をします。

9 **授与三歸三竟**※7

仏、法、僧を信じ従うことを誓います。

10 **日課勸奨**※8

日々称える念仏に数を誓います。

11 **数珠授与**

12 **指輪交換**

結婚指輪を交換します。

13 **聖漿交換**※9

新郎と新婦が杯でお酒を飲み交わす。神式の三三九度に当たる。

14 **授与十念**

15 **誓詞朗読**

16 **慶祝和讃奉納**

お祝いの和讃を仏さまに奉納します。

17 **成婚奉告**

18 **十念**

あみだ仏さまの名前を列席者全員で十回称えます。

19 **無言一拝**

仏さまへのお礼の御辞儀を無言で1回します。

20 **奏楽**

雅楽の演奏の中、戒師、新郎新婦が退堂します。

21 **親族紹介**

新郎新婦の親族を紹介し合います。

仏式結婚式に寄せて



新郎 瀧沢孝彦

友人の仏式結婚式に出たことがあり、よく覚えています。印象的でしたから。

普段自分自身で称えているお経も、称えてもらう側で聞くと何とも言えぬ響きで、感動しました。

新婦

仏式結婚式は初めてで、良く知りませんでした。が、どういう結婚式なのかとも楽しみでした。

普段人前で歌っていますが、やっぱり結婚式ですし、緊張しました(笑)。

お寺で慶事

参列者座談会 ～仏式結婚式に参列して～

梅窓院での式に参列した三人の女性に、それぞれの仏式結婚式の印象や感想を語ってもらいました。三人は梅窓院の仕事をしている職員で、中には準備をお手伝いした方もいるので面白い座談会になりました。

出席者

49歳(既婚)
34歳(独身)
23歳(独身)

さんは結婚式に参列するのは何回目？

あっ、これが初めてです。最初の結婚式が仏式になりました。

そうなの、私は自分の結婚式も含め、もう何度も参列したのだけど、この十二月には息子が結婚するから、新郎の母としての結婚式だわ。

息子さんが結婚、おいくつですか？

二十四歳、相手も同い年だけど、本人曰く、「お母さん、ぼく恋に落ちた。結婚する」って(笑)。

すごい、かっこいい！ でも二十四歳で結婚ですか、一歳違いだけど全然結婚のこと考えていませんよ。

結婚もタイミングでしょう。子供のいる友達もたくさんいるけど、私同様、独身も多いし

……。

でも、私はいま婚活の真っ最中ですから、読者の方、

さん いい人いた

らぜひ紹介してください

(笑)。

売り

込みは大事

よ(笑)。で

も、今は結

婚が遅くなったけど、昔は早かったのよ。私は二十三歳で結婚、今のあなたと同じ歳ね。

すごい！ さん、私の歳で結婚したのですか。どんな結婚式だったのですか？

銀座のホテルで神式の結婚式を挙げたわ。白無垢に綿帽子よ。

それならこの間の仏式の花嫁さんと同じ姿ですね。花嫁さんの着物姿って素敵ですよ。私、白無垢は憧れます。

神式、キリスト教式、それに人前式の結婚式にも出たけど、最近是新郎新婦の誓いの言葉もないレストランウエディングというのもあるとか。

お葬式も色々な形が増えてきているけれど、結婚式も様々ね。

さん そうなのですか、私は結婚式だけ

けでなく、お葬式もまだ参列したことないんです。

そうなんだ。で、結婚式どうだった？

お経のところはやっぱりちょっと

と暗い感じはしましたけど、落ち着いた感じもありました。それと、詠唱ですか、あれは明るくてとても素敵でした。

今まで結婚式はチャペルとホールというイメージでしたけど、これで白無垢に綿帽子になりそうです。本当に綺麗でしたから。

そうでしょ、和装っていいのよ、楚々として凛として。

私の仏式結婚式の印象は、雅楽の演奏。式中に響き渡るたびに何ともいえない気持ちになったわ。これも和の伝統ね。

私も

仏式の結婚式に参列したのは初めて。

さん でも、その結婚式の

準備を手伝っていて気付いたのは、一緒に生きていく二人へのはなむけになるような内容になっていること。

それと僧侶の方が言っていたけど、お経の中でも普段あげないお祝いのお経とかがあるみたいです。

ちゃんとしていう内容なのね。

ええ。それと仏教ならではの行華や数珠の授与もリハーサルの時から

素敵だなと思ってました。

そして、これは浄土宗だからだけど、戒師、新郎新婦はもちろん、参列者全員で十回の念仏を称えるのも、仏さまと一体感があって良かったです。

私は初めての結婚式だから、何が仏式でどう違うのかわからなかったけれど、ほとけ様の前に新郎新婦が花を供えに行くところが、緊張感が伝わってきて、私も緊張してしまいました(笑)。

同じお経を聞いててもお葬式の印象とは全然違ったかな。

それと、これも雅楽のせいかもしれないけれど、途中で涙が自然と流れちゃった。

私も仏式の結婚にしよう！

礼華 青鸞居 らいかせいらんきょ

青山通りに面したパサージュ青山。その一階に昨年十二月にオープンした中華料理店「礼華 青鸞居」。

新宿御苑にもお店があり、フカヒレ料理で有名である。

オーナーシェフ新山氏は恵比寿のフカヒレ専門店「筑紫楼」で料理長を務めた後、お店をオープン。

何度となく上海を訪れ食べ歩きをしたと語るシェフのお料理は上海料理をベースに中華の良さを残しながら、

時代のニーズに合わせた味付けとなっている。

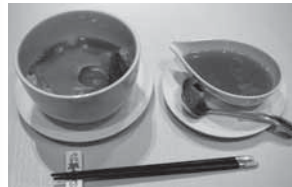
その味は油控えめでさっぱりとして食べやすく、女性におすすめのお店。人気はエビチリや酢豚で、麻婆豆腐などは辛味の調節もして頂ける。

フカヒレの他に鮑や蟹爪のお料理も是非食べて頂きたいとの事。

中国茶も豊富に揃い、お洒落なティーバーでお茶を楽しむ事もできる。



営業時間／ランチ11:30~15:00 (LO14:00)
ディナー17:30~23:00 (LO21:30)
定休日／年中無休
席数／総席数66席 (個室5室)
住所／東京都港区南青山2-27-18 パサージュ青山1F
TEL／03-5786-9399 FAX／03-5876-9390



▲オススメはフカヒレの姿煮。平日ランチは1050円~ランチコース8400円まで。



▲人気の礼華御膳。前菜、デザート付でボリューム満点。



▲広い店内はパーテーションで区切って使用することも可能。



▲外観、左が入口。

青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○灯標の点り初めたる夕端居

◎入選

○「罪と罰」読む緑陰のハンモック

○地下鉄を出れば参道竹の秋

○杉落葉焚いて山家の暮色かな

○父の日や嫁ぎし子より花束を

○手もかけず食べられさうな柿若葉

○黄泉よりの亡夫戻りゆく夜の短

○慰霊の日ただ蝉しぐれ蝉しぐれ

○風薫る朝の学び舎二重唱

◎選者詠

○鐘楼を夕日離るる夏燕

大崎 紀夫

〈ワンポイントアドバイス〉

季節の移り目には何かしみじみした思いを抱くものです。その季節の移り目をさす季語はたくさんあり、夏から秋へかけては、「夏の果」「夏惜しむ」「秋近く」「夜の秋」「六月尽」などあり、秋から冬へ冬から春へ、春から夏への季語もいろいろあります。それらの季語を「情に流されないうつ」「句にしっかりとその位置を占めるよう」によく考えて使いたいものです。

投句募集

今回は「秋の季語」でご自由にお詠み下さい。11月7日を締切、平成23年1月発送の『新年号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウェブ編集室
電話03-5368-1870

第四十回

食は命

食養研究家
武鈴子

ゴマは五臓を開く

ゴマは、日本人の食卓にはなくてはならない大事な食品。ゴマ和え、ゴマ塩、ゴマ汁、ゴマ酢、ゴマ味噌などなど、ゴマを加えてますぐるといものはありません。「ゴマ化す」というのはどんな食品もゴマを用いれば美味に化するという意味です。

古書には「黒胡麻は腎に作用し、白胡麻は肺に作用する。ともに五臓を潤し、血のめぐりをよくし、大小腸の調子をととのえる。」と記載され、髪を黒くし、筋肉や骨を丈夫にし、美しい肌をつくり、胃腸を潤して、便通をよくし、利尿の働きもあります。また、お乳の出をよくする催乳効果があるので、妊産婦はゴマを常食するとよいでしょう。さらに、硬くなった血管をやわらげる作用もあるので、肉食を好む人は同時にゴマを摂るようになります。ただし、ゴマは丸のままでは吸収されませんので、必ず搗って食べましょう。

秋茄子と里芋のゴマ煮

(材料:4人分) 茄子4個、里芋4~8個、こんにゃく1枚、ゴマ油大さじ2、白すりゴマ大さじ3、白炒りゴマ大さじ1 (調味料) だし汁1カップ、酒大さじ1、砂糖大さじ3、醤油大さじ2 (作り方)

①茄子は縦半分に切ってから乱切りにし、水にさらす。里芋は皮をむいて塩もみし、水洗いする。こんにゃくは湯に入れてあく抜きし、一口大に切る。②鍋にゴマ油を入れて熱し、茄子の水気をきって炒め、取り出しておく。そのあとに里芋とこんにゃく、調味料を加えて軟らかく煮る。③茄子を戻し入れてひと煮立ちし、煮汁をからめて火を止め、すりゴマ、炒りゴマを加える。

行事予定

秋彼岸会法要

9月23日(木)

寄席 午後1時～ 本堂
法要 午後2時～ 本堂

※詳しくは3面をご覧ください。



お彼岸ライブin青山

9月25日(土)

開場 午後3時～ 祖師堂
開演 午後3時半～

写真展も同時開催!!

※詳しくは別紙をご覧ください。

第51回 念仏と法話の会

10月19日(火)

受付開始 午後12時～

別時念仏会／法話／茶話会

法話:「阿彌陀様の救いを戴く」

【講師】宮城教区 往生寺住職
豊嶋 瑞俊 上人



文化講演会

10月24日(日)

開場 午後2時～ 祖師堂

開演 午後3時～ 祖師堂

【講師】プロデューサー

残間里江子氏

入場無料／先着300名

※詳しくは別紙チラシにてお知らせ致します。

発行／梅窓院
発行日／平成22年9月1日
発行人／中島 真成
編集／青山文化村
住所／〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話／03-3404-8447
FAX／03-3404-8107
ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail／jodo@baisouin.or.jp
題字／中村康隆前浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院より お知らせ

来年度より墓地管理費が改訂になることが総代会にて決定致しました。詳細は後日お知らせ致しますのでご確認ください。

行事予定表同封致しました後期行事予定表が完成しました。目に付く所に貼って頂きご活用下さい。

梅窓院団体参拝旅行報告

栃木 輪王寺 探訪の旅 平成22年5月15日(土)～16日(日)

本年度は、栃木県日光市にあります輪王寺を訪れました。世界遺産の三仏堂と大猷院をお参り致しました。翌日、那須では雄大な景色と美味しいチーズに、身も心も満足した旅行になりました。



大猷院にて記念撮影。



分かりやすい説明で楽しい時間となりました。

平成22年度 後期 仏教講座のご案内 ※詳細は別紙同封の案内をご覧ください。

梅窓院では10月より平成22年度 後期 仏教講座を開講します。講師は前期より引き続き、阿川先生、新井先生、勝崎先生、林田先生、本林先生の5名の講師でお送りいたします。

どうぞお気軽にご参加下さい。

全講座▶午後6時～8時 受講料▶無料 場所▶祖師堂

講師	阿川 正貫 先生 浄土寺住職 大正大学講師	第1回 11月 9日(火) 建康(現 南京)を中心に① 第2回 12月14日(火) 建康(現 南京)を中心に② 第3回 3月 4日(金) 蘇州・杭州を中心に
講師	新井 俊定 先生 天然寺住職 大正大学出版会主管	第1回 10月25日(月) 恵心僧都の生涯 第2回 12月 9日(木) 恵心僧都の教えⅠ 第3回 3月10日(木) 恵心僧都の教えⅡ
講師	勝崎 裕彦 先生 香蓮寺住職 大正大学仏教学部長・教授	第1回 11月25日(木) 般若経を読むⅢ —『般若心経』の教え 第2回 1月 6日(木) 般若経を読むⅣ —『金剛般若経』の教え 第3回 2月10日(木) 般若経を読むⅤ —『仁王般若経』の教え
講師	林田 康順 先生 大正大学准教授 大本山増上寺布教師 慶岸寺副住職	第1回 11月15日(月) 『選択集』第1章③ —浄土門帰入の勧め— 第2回 12月27日(月) 『選択集』第2章① —正行と雑行— 第3回 1月24日(月) 『選択集』第2章② —二行の得失—
講師	本林 靖久 先生 真宗大谷派僧侶 大谷大学・佛教大学講師	第1回 10月 8日(金) 宗教世界観と祭礼 第2回 12月17日(金) 近代化と伝統のはざままで 第3回 2月18日(金) 豊かな死をめざして
講師	ブータン・スタイル —幸福のカタチ—	

我が家の宝物!

最後に 成田 <くん(9歳)・前列左から ちゃん(4歳)>
<くん(1歳)・ ちゃん(6歳)>

投稿者より およそこの世に人として生まれ、生まれたからには何を残すべきかを深く考えてみると本質的に子孫を残すことにあると考える。幸いにも多くの孫たちに囲まれ、これで安心して死んでいけるわが身は大変幸せ者と思うし阿彌陀様からの宿題の一つが為し終えた感じで清しい。(祖父・成田)

編集部より 梅窓院僧侶の成田公応上人のお子さんです。四兄弟の笑顔でこちらも元気になれるそうです。

お写真大募集!!

お孫さんと一緒のお写真と推薦者のおじいちゃん・おばあちゃんのコメント(30～150字程度)を青山文化村までお送り下さい。お孫さんのお名前、お年も忘れずに。(お送り頂いたお写真は返却できませんので予めご了承下さい)掲載させて頂いた方には梅窓院煎餅を差し上げます。

〒107-0062 港区南青山2-26-38 青山文化村「我が家の宝物」募集係